



ハイライト

- 8月6日に関西最大級の移住・定住イベントが大坂で開催され、沖縄県から石垣市、国頭村、久米島町、竹富町、沖縄県の5ブースが出展しました。
- 8月27日に東京有楽町にて移住・定住相談会を開催し、石垣市、久米島町、沖縄県の3ブースが出展しました。
- 石垣市移住・定住支援協議会が8月に発足しました。
- 沖縄へ移住された方々の声を紹介します。

目次

8. 6ふるさと回帰フェア 2016 in 大阪へ出展	1
移住・定住相談会@有楽町!	2
石垣市移住・定住支援協議会が発足(^^)	2
移住者の声	2
ひと紹介コーナー	2

8. 6 ふるさと回帰フェア 2016 in 大阪へ出展



ふるさと回帰フェア 2016 in 大阪 (8月6日開催 大阪天満橋 OMM ビル 2階 B・Cホール)

8月6日に「おいでやいな暮らしフェア」が大坂で開催され、全国から 176 ブースが出展し、1,697 組 3,225 名が来場しました。会場では、ブースに足を運んでもらおうと各自自治体が装飾やリーフレット等工夫を凝らし、入口付近では客引きも行われ白熱していました。

沖縄からは、石垣市、国頭村、久米島町、竹富町、沖縄県の5ブースが出展し、延べ 127 組 194 名の方が移住相談に訪れました。関西では初の出展になりますが、沖縄の出展を心待ちにしていた方もいらっしゃいました。

主な相談内容は、仕事や住まいはあるのか、賃金が安いと聞いているが生活はできるのか、離島に住みたいが移住者がいきなり地域に入っていけるのか、地域の方は受け入れてくれるのか等でした。相談者が安心して準備や移住ができるよう、地域の実情に詳しく、的確にアドバイスできる方の存在が大事だと改めて感じました。



○今後の予定○

【世話役養成塾】

- 第1回
10月3日(月) 北部
10月4日(火) 南部
- 第2回
10月31日(月) 北部
11月1日(火) 南部
- 第3回
11月下旬頃

- 第4回
H29年1月(市町村職員、世話役合同研修会)

【移住フェア(東京)】

- 10月22日(土)
第12回ふるさと回帰フェア2016
- 11月13日(日)
九州・山口合同移住フェア
- H29年1月15日(日)
JOIN移住・交流フェア

【おきなわ移住相談会】

- H29年2月
ふるさと回帰支援センター
(東京交通会館3階)

【移住体験ツアー】

- 11月~H29年1月
久米島町、宮古島市、石垣市
(各10名程度)

【移住シンポジウム】

- 12月6日(火)

移住・定住相談会@有楽町！



8月27日(土)東京有楽町のふると回帰支援センター(東京交通会館8階)にて「移住・定住相談会」を開催しました。石垣市・久米島町・沖縄県が出展し、計29組50名が来場してくださいました。

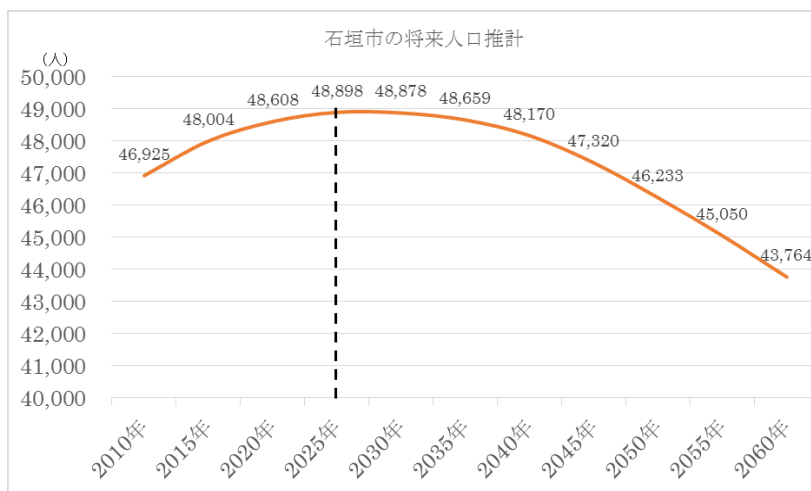
一番多かった相談は「就業」についてでした。今後、会員の皆様が相談を受けるにあたっては、県内平均賃金データやアルバイト情報誌を活用することをお勧めします。

事前予約制で行った個別相談は、3ブースとも定員に達し、またトークセミナーでは立ち見も出るほどの盛況ぶりです。沖縄の人気の高さを実感した相談会となりました。

◇お知らせ◇

同センターの沖縄県常設展示ブースには移住等のリーフレットを置くことができます。まだ設置スペースに余裕がありますので、設置希望の市町村は事務局(県地域・離島課)までお気軽にご相談ください。

石垣市移住・定住支援協議会が発足(^^)



推計方式：国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計方式に準拠
人口：国勢調査による人口を将来人口推計のベースとして使用

石垣市の人口は微増傾向が続いていますが、2025年をピークに人口減少が始まるとの推測が行われています。石垣市は、その流れを食い止め、持続可能な地域社会を実現する観点から、移住・定住に関する支援を図るために、学識経験者、地元団体(商工会・JA・漁協など)、金融機関、不動産業者のほか、実際に移住を経験している市民ら20名を委員とする「石垣市移住・定住支援協議会(会長：琉球大学教授 本村真)」を8月に立ち上げました。

協議会では、「地域コミュニティの担い手となるような人に移住してほしい」、「賃貸物件が不足しており、空き家の活用を検討してはどうか」、「移住に関する情報が不足しており、きめ細やかな情報発信が必要である」など、活発な意見交換が行われました。

移住者の声 石垣市移住・定住支援協議会 市民委員 光森裕樹(2013年移住)

仕事や住まい子育ての環境など、目先のものごとの重要性は人によって異なると思うが、『すでに一定の移住者があり、(さまざまなトラブルを乗り越えて)彼らが移住に満足している』という情報の有無が、移住検討者の移住先決定に大きく影響する。日本の人

口動態から考えても、移住者誘致競争は確実に発生するため、どのような人に来て欲しいのか明確にしたうえで、マッチ度合いを重視した支援活動が大切だと感じている。

補足

沖縄移住応援サイト「おきなわ移住の輪-結-」でもさまざまな移住者の声を掲載中です。

今後も随時追加していきますのでぜひご覧下さい。

<http://okinawa-iju.jp/>

“ひと紹介コーナー” 石垣市企画政策課 移住・定住支援係 主事 遠藤孝典

石垣市では、今年の4月に新しく移住・定住支援係を設置しました。

この係の大きな任務は、単に移住者を増やすということではなく、“地域も移住者も幸せになれるような移住”を推進していくことと考えています。そのためには、人口減少地区における地域として移住者を受け入れる体制の整備や、観光のイメージのままに定住をしてしまい現実とのギャップを感じて帰ってしまう移住者をなくすための情報発信など、様々な取組みが必要です。

まだスタートしたばかりの取組みであり、県をはじめ他市町村の皆さまに教えていただくことが数多くあると思いますので、よろしく願い致します。(遠藤さんは神奈川県からの移住者です!!)

